

「はちのへA I（アイ）中心街・バス活性化プロジェクト」について

1 プロジェクトの全体概要

(1) 事業目的

デジタル技術を活用し、中心街への誘客推進と公共交通の利用促進を図るとともに、人流データ等を活用した中心街の賑わい創出やバス路線の最適化に向けた施策立案を行い、さらなる市政発展に繋げていくことを目的とする。

(2) 事業年度

令和4年度～令和6年度の3年間（地方創生推進交付金事業）

(3) 令和4年度事業内容（括弧内は担当課）

- ① 中心商店街情報発信アプリの開発（まちづくり推進課）
- ② 中心市街地駐車場共用化システムの開発（まちづくり推進課）
- ③ まちなかWi-Fi、AIカメラの設置（まちづくり推進課）
- ④ バスICカードポイント付与システム・キャッシュレス決済システムの開発等（都市政策課）
- ⑤ 人流分析システムの開発（都市政策課）
- ⑥ GISシステム（地理情報システム）の改修（行政管理課）

(4) 事業費

- ・ 令和4年度 114,900 千円
- ・ 財源として、地方創生推進交付金（補助率 1/2）を活用する。
- ・ 残りの地方負担分について、地方交付税または一般補助施設整備等事業債が財源措置される。

2 都市政策課所管事業

(1) バスICカードポイント付与システム・キャッシュレス決済システム開発事業

① 事業目的

市内各主要施設（はっち、YSアリーナ、美術館、こどもの国等）にキャッシュレス決済に係る設備を設置し、（仮称）八戸ポイント（地域通貨）の付与等でインセンティブを与え、ICカード（ハチカ）の利用促進を図る。

また、高齢者やICカードに不慣れな市民等に対し、市庁舎内のサポートブースにおいてハチカ利用方法等に関するサポートを行い、ハチカの普及・利用促進とデジタル化の促進を図る。

さらに、バス乗降データと GIS データ、人流データをミックスし、データの分析・活用に関する検討を行い、交通政策の効果シミュレーションやバス路線最適化等の施策立案を行い、バス利用者の利便性向上を図る。

②事業内容

- ・(仮称) 八戸ポイント付与及びキャッシュレスシステムの設置
- ・ハチカサポートブースの運営
- ・交通政策の効果シミュレーション、施策・政策立案の実施

③事業費

令和4年度 32,000 千円

(2) 人流分析システム開発事業

①事業目的

八戸市のバス交通の結節点となっている中心街に設置する、AI カメラを活用し、画像解析を行い、性別、年代等の基礎的な属性を判別した後、テキストデータに変換するシステムを開発し、人流分析に必要なデータを取得し、交通政策の効果シミュレーションやバス路線最適化等に活用する。

②事業内容

- ・システムの開発
- ・AI カメラの画像処理、解析、属性データ作成

③事業費

令和4年度 10,000 千円

3 今後の予定

令和4年度9月補正予算において事業費を計上予定。